

教育委員会定例会（平成19年11月）会議録

1	日 時	平成19年11月5日（月） 17:00 ～ 18:50
2	場 所	新居浜市泉川公民館 O A室
3	出席者	委員長 栗田敬子 委員 小野正師 宇野征一 太田恵理子 教育長 阿部義澄 総括次長 日野清 次長 真鍋智明 次長兼館長 前垣芳郎 課長 高橋康文 岩崎幸夫 近藤清治
4	教育長の 一般報告	(1) 10月分行事報告及び11月分行事予定について
5	記録者氏名	社会教育課 日野 里美
6	会議の概要	<報告> 教育長の一般報告について <議案> 議案第25号 新居浜市立郷土美術館協議会委員の任命について (原案可決) 議案第26号 新居浜市立小学校及び中学校設置条例及び新居浜市 入学準備金貸付基金条例の一部を改正する条例の 議案送付について (原案可決) <その他> (1) 耐震工事の進捗状況 (2) 全国学力・学習状況調査の結果について

<p>栗田委員長</p>	<p>それでは定刻が参りましたので、平成19年第11回新居浜市教育委員会定例会を開催致します。本日の会議録署名委員は、小野委員さん、太田委員さんをお願い致します。会期は本日限りといたします。平成19年10回の定例会会議録の承認は宇野委員さん、太田委員さんにご署名をいただいております。それでは教育長さんからの一般報告をお願い致します。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>5日 市内小学校で『学校へ行こう日(デイ)』の行事がもたれ、参観授業やいろいろな行事が発表されました。地域の見守り隊の方々との交流給食や人権・同和教育授業参観と講演会、CAPワークショップ、タン・シャオタンさんのピアノコンサート等が発表されました。市内全小学校で3,728名の来校者がありました。</p> <p>7日 第38回新居浜市民体育祭開会式が、『健康・躍進・奉仕』の大会スローガンのもとに市営野球場で盛大に開催されました。なお、市民体育祭において、平成19年度新居浜市体育功労賞が菊内 適さん、岡部弘子さん、田中克美さん、白石初太郎さん、丹下笑子さん、また、スポーツ賞が大中康貴さん、早崎清光さん、田坂美仁さん、村上瑛一さん、塩出秀男さん、塩崎 創さん、丹波久美子さん、尾崎躬几子さん、新居浜セブンティーンさん、新居浜レディースさんに贈られました。</p> <p>第17回えひめお母さんコーラス大会INにはまが、新居浜市制施行70周年記念事業として開催されました。雨が心配されましたが、最後までもち、秋の色が深まりつつある山々に美しい歌声が響いていました。</p> <p>11日 新居浜市立王子幼稚園で、『人とかかわる力をはぐくむ活動の充実をめざして(自分も大切 みんなも大切)』を、研究主題として、平成19年度愛媛県教育委員会人権・同和教育訪問並びに新居浜市就学前教育における人権教育研究会が開催されました。</p> <p>図書館イメージキャラクター愛称選考会が開催されました。これは、新居浜市出身の故 真鍋 博氏から図書館に贈られた、木馬に乗った男女二人の子どもが、木馬の前足2本を広げたイラストです。</p> <p>12日 平成19年度中学生国際交流アメリカ訪問団結団式並びに壮行会が、佐々木龍新居浜市長、仙波憲一新居浜市議会議長の参加のもと、参加生徒、保護者、各校校長等で開催されました。最後に東中学校鴻上翔真さんの力強い決意のことばが述べられました。</p> <p>13日 平成19年度第52回秋の芸術祭の第1部が開催され、11月4日までの期間に第5部まで開催されました。</p> <p>19日 新居浜小学校でのCAPプログラムに佐々木市長と参加い</p>

たしました。

20日 高津公民館設立50年記念式典が、地域の公民館関係者多数の出席のもと開催されました。この50年の公民館の歩みを振り返り、これからの公民館活動・地域活動の発展に向けて新たな歩みがスタートしました。

また、第57回新居浜市美術展覧会の前期展が日本画・写真・華道・美術工芸・商業デザイン・彫塑立体の部門で25日まで開催されました。

23日 第43回新居浜市小学校陸上記録会が河川敷陸上競技場で開催されました。

25日 別子銅山記念図書館において『図書館を知ろう！使いこなそう！』という活動の一環として、大人のための図書館探検ツアーが開催され、市民の方14名が体験活動を行いました。

25日と26日に愛媛県公民館研究大会が『今、求められる公民館活動のあり方をさぐる』を大会主題に四国中央市で開催され、公民館活動の充実を目指し、研究協議が行われました。

26日 平成18年度の決算特別委員会が開催されました。

新居浜市交通安全推進協議会役員会が開催され、交通事故についての概要や今後の対応について話し合われました。10月25日現在で交通事故による死者数は昨年度一年間で7人であったが、今年はずでに8人となっており、各団体に交通死亡事故防止策について強化することがまとめられました。

第38回新居浜市民体育祭反省会が開催され、次年度へ向けての建設的な提案や意見がありました。

27日 第57回新居浜市美術展覧会の後期展が、11月1日までの期間、洋画・書道・陶芸の部門で開催されました。

愛媛FCマッチシティがありました。愛媛FCマッチシティは新居浜市として、コンサドーレ札幌との試合が行われ、新居浜市のサッカー少年たちのエスコートでの選手入場や、新居浜の物産展などが行われ、新居浜市をアピールすることができました。

28日 第57回新居浜市美術展覧会授賞式が執り行われました。出品点数419点の中から今年は市制施行70周年事業として、例年の各賞と70周年記念賞を設けて総勢88名の方々が受賞されました。

身体障害者チャリティー第24回ウエイト制オープントーナメント全日本拳武道選手権大会が、市民体育館で開催されました。小学生から成人までの予選を勝ち抜いてきた選手たちの激しい闘いに、日ごろの練習の成果と厳しさを感じさせられました。

29日 臨時校長会を開催し、全国学力・学習状況調査の結果処理や当面の課題について話し合いました。資料につきましては、お手元

に配布しております。後ほど説明したいと思います。

30日から31日にかけて、金子小学校、大生院小学校、大生院中学校、中萩小学校で、「g o e z' o n邦楽コンサート」が開催されました。また、大生院小学校ではコンサートの感想を、俳句としての表現活動に結び付けていました。

31日 平成19年度中学生国際交流アメリカ訪問団が、早朝の5時に元気に集合し、それぞれの目標を持って出発していきました。見送りに来られました保護者・校長はじめ学校関係者・教育委員さん、お世話になりました。帰国につきましては、11月9日22時30分ごろ新居浜市役所に到着予定です。

多喜浜小学校で、防災体験及び防災教育発表会が、保護者・地域の方々も参加して開催されました。各学年から、これまでの取り組みについての発表や、川東分署・多喜浜消防分団の協力を得ての体験活動が行われました。

11月1日 4月から実施されております「あいさつ運動」の担当日であり、教育委員会の管理職が市役所の4か所の出入り口で出勤して来る職員、また来庁者にあいさつ励行の呼びかけを行いました。

愛媛スポレク祭2007への出場選手団の打合せ会がもたれました。16種目、401人の選手が参加いたします。

浮島小学校へ、故 加藤佳子先生のお父様加藤英文氏より、展示パネルや特別支援学級児童の機能向上を図る備品等が贈られました。加藤氏からはこれまでも浮島小学校・高津小学校へ児童図書や書架が贈られております。

3日 新居浜市制施行70周年記念式典が、文化センター大ホールで盛大に執り行われました。これまでの市政の発展に対して貢献された方々に、感謝状や表彰状が贈られました。教育委員会関係としては、個人16名と3団体が受賞いたしました。なお、受賞者名簿はお手元に配布しております。

4日 第22回新居浜市駅伝競走大会兼第51回新居浜市中学校駅伝競走大会が、すばらしい天候のもとで開催されました。中学男子では、東中Aが新記録で1位、2位角野中、3位川東中、中学女子東中Aが新記録で1位、2位東中B、3位川東中A、4位北中Aとなりました。11月23日の県駅伝大会へ参加するチームには、更にチーム力の向上を図り、コンディション作りに配慮して記録を伸ばしてほしいものです。

その他、11月の主な行事予定について報告を申し上げます。

7日 小中学校人権・同和教育研究大会

8日 手をつなぐ子らの作品展（文セン）

9日 中学生国際交流アメリカ訪問団帰国

10日から11日 第20回県中学校新人体育大会（野球会場）

	<p>1 1 日 校区文化祭（金栄・高津・垣生・泉川・別子山）</p> <p>1 2 日 第 2 0 回県小学校陸上運動記録会（県陸上競技場）</p> <p>1 3 日 新居浜市伝える力を育てる教育特区「表現科」自主発表会 （大生院小）、愛媛県人権・同和教育研究大会</p> <p>1 7 日 阿部恵さんのパネルシアターのお話会 （別子銅山記念図書館）</p> <p>1 8 日 校区文化祭（新居浜・大島・神郷・中萩）</p> <p>2 1 日 第 5 6 回秋季県展新居浜移動展</p> <p>2 3 日 第 2 7 回県中学駅伝競走大会兼第 1 5 回全国中学校駅伝 大会予選会</p> <p>2 5 日 校区文化祭（金子）、防災・減災フォーラム 2007 in 愛媛 （愛媛県総合科学博物館）</p> <p>2 6 日 第 2 回小中学校校長研修会</p> <p>2 7 日 小中音楽発表会</p> <p>2 8 日 教科外研修会</p> <p>以上で、一般報告を終わります。</p>
<p>栗田委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の教育長さんの一般報告について、ご質問やご意見はございませんか。</p>
<p>宇野委員</p>	<p>教育長さんの報告の中にありました、「g o e z ’ o n 邦楽コンサート」の4校のうち、大生院中学校と大生院小学校へ行かせていただきました。特に大生院小学校は、俳句を核として伝える力を育てるとい研究実践校なのですが、先生方が非常に前向きであるという事と、子ども達の感性が磨かれているというか、育っているというか、そういうふうな事を、邦楽を聴かせていただく場の中で特に感じました。体育館で、三味線・琴・尺八の三重奏を聴かせてもらったのですが、体育館に入った途端に、この人たちを本当に歓迎しているのだなと感じました。子ども達の聴く態度も素晴らしかったのですが、司会の先生が「俳句で今日のお礼を言える人」と言うと、5人が手を挙げ、その子たちがそれぞれ「五・七・五」にのせてお礼を述べました。全部は覚えてないのですが、ちょっと紹介したいと思います。3年生の女の子だったと思うのですが、「お琴の音 体の中も ふるえてる」、また特に私自身、感動しましたのは、6年生の女の子で、「和楽器の 美しい音色 これぞニッポン」です。演奏も素晴らしかったのですが、子ども達も素晴らしく成長しているなど感じ、いい一日を過ごしました。</p>
<p>栗田委員長</p>	<p>私も同じように感動しました。ここまでその場ですぐに子どもたちが表現するとは全然予想していなかったなので、本当にびっくりしまし</p>

	<p>た。その後、午後から俳句の先生が来られて俳句の授業したようなので、どんな俳句になったか聞かせてもらいたいなど楽しみにしています。やはり先生と子どもが一体となると育つのだなあと感じております。</p> <p>個人的に“人と防災未来センター”に行く機会があったのですが、小学生はまた今年も行く予定なのですよね。中学校の修学旅行で、どれくらいの中学校がそこを利用しているか、来月までにお知らせ願えればと思います。かなりの中学生が来ていたので、新居浜市はどういう状況なのか、またお願い致します。</p> <p>その他、何かございませんか。</p> <p>議案に移りますが、議案第25号は人事案件ですので非公開とさせて頂きます。</p> <p>では、議案第26号 新居浜市立小学校及び中学校設置条例及び新居浜市入学準備金貸付基金条例の一部を改正する条例の議案送付についてお願いします。</p>
日野総括次長	<p>はい。資料の10ページをお開きください。 <資料に基づき説明></p>
栗田委員長	<p>ありがとうございました。何かご質問はございませんか。学校教育法の改正に伴う事ですので、ご承認いただける方の挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>全員ということでよろしいでしょうか。よろしくお願い致します。続きまして、その他の耐震工事の進捗状況についてよろしくお願い致します。</p>
高橋学校教育課長	<p>それでは、ご説明させて頂きます。お手元の資料をご覧ください。今年は体育館4棟と、金子小学校、泉川小学校、船木小学校、中萩中学校校舎の耐震工事を実施しております。</p> <p><資料に基づき説明></p>
栗田委員長	<p>ありがとうございます。この件に関して、何かご意見はございますか。学校から何か困っている等の報告はありませんか。</p>
高橋学校教育課長	<p>はい。今のところはございません。夏頃は「暑い」等あったのですが、現在は解消されています。やはり工事の都合で多少音が出るというのはありますが、仕方が無いと思います。</p>
栗田委員長	<p>来年以降も工事が続きますが、大丈夫なのでしょうか。</p>

高橋学校教育課長	<p>はい。校舎の耐震工事は、今年が初めてなので、工法は本当にこれでいいのか、建築住宅課に見直しをお願いしております。また今年は工事の開始が若干遅れたので、工事の開始を早めるようにしたいと思います。なるべく早く出来るような方向でやっていきたいと思っております。</p> <p>現在の工法は、ブレスを外付けるという工法なのですが、ブレスを中付けするとなると中を触らないといけないので、現状は致し方ないと思います。ベランダ部分は全部はずさないでやっている所もあります。金子小学校は中を通してやっていますので、そういった事が出来ないかと思っております。できるだけ早く出来るように建築住宅課に要望したいと思っております。</p>
栗田委員長	<p>出来れば各学校の校長先生に細かくご確認いただけたらと思います。</p>
高橋学校教育課長	<p>はい。一応、工事終了に際しましては、各学校の先生方にアンケートを実施して、今後の工事の参考にしたいと思います。</p>
栗田委員長	<p>よろしくお願ひ致します。次の全国学力・学習状況調査の結果についてお願ひ致します。</p>
真鍋次長	<p>お手元の資料をご覧ください。新居浜市教育委員会としてまとめたものです。</p> <p><資料に基づき説明></p> <p>10月29日に臨時校長会を開催し、返却の説明や今後の学校の分析、そして新居浜市としての共通理解を図る改善点について説明をしました。そこで説明したのは、通過率の公表は一切しないということです。これは、競争・差をつけるということに繋がるからです。また子ども達に結果を返す際も、このテスト自体が、学力の一部であり、一部分の評価であるということを説明し、誤解の無いようにするようお願いしました。</p> <p>この調査の目的は、実態を把握して、改善に生かすということですので、今後学校へもいろいろお願ひしたいと思っております。</p> <p><資料に基づき説明></p>
栗田委員長	<p>ありがとうございました。ただ今のご説明について、ご意見やご質問はございませんか。太田委員さん。</p>
太田委員	<p>はい。質問ですが、「家庭学習時間を増やす」という目的を立てた際に、家庭学習時間の現状は何時間で、何時間に増やすのですか。</p>

真鍋次長	実際にどれぐらいの時間学習しているかは、データにあるのですが、その傾向が全体的に他と比べて低いという事であり、具体的な時間は考えておりません。また集まった時に小・中学校でそれぞれの必要と思う学習時間の目安を決めるのではないかと考えております。
栗田委員長	今いただいているこの資料を、各学校長はお持ちなのでしょうか。
真鍋次長	自分の学校分しか持っていません。
栗田委員長	まだよく見てはいないのですが、さっと見た状況では、宿題に関して、新居浜市で“している”というのがかなり高いのですが、“授業の予習・復習をしている”というのは小・中学校どちらも低くなっていますよね。出された宿題は真面目にするけれど、それ以外に関しては・・・という事です。そういう現実問題を各学校での把握は出来るのですよね。市全体ではまだです。よね。
真鍋次長	いいえ、これは市全体で出しております。
栗田委員長	このようにグラフ化されると、言葉だけよりわかりやすいと思います。もう少し先生方への結果の出し方についての検討をしていただきたいと思います。
真鍋次長	わかりました。
栗田委員長	やはり、新居浜市教育委員会に突きつけられているものは大きいなと思います。またこの資料をじっくり見させていただいたら違ってくるものもあると思いますが。
真鍋次長	そうですね。教育委員会の方も細かい所まで分析できておりませんので、大まかに見た結果で共通のものを1つ見つけようという事です。また小学校と中学校とが違って、小学校ができていても中学校ができていないというのがありますので、全体で共通しているのは学習面で言うと「家庭学習時間を増やす」ということ、そのことは、みんなが納得できて、一つの狙い目ではないだろうかという事です。
栗田委員長	先ほど太田委員さんも言われたように、単純に増やすだけではなく、実質的な効果を得られるようお願い致します。
太田委員	この目標は、教育委員会で考えられたものですか。

真鍋次長	はい、そうです。
太田委員	学校からの意見ですか。
真鍋次長	学校が今から調べて、それから返してもらうのが相当な期間がかかります。11月中に返しますが、量もとても多いので、遅くなります。ここにあるのは、その一部です。各学校が学校独自に課題、改善点を見つけるというのはデータを見ていったらできると思います。
太田委員	教育委員会が指導できるのは、各学校や教員の方だと思いますが、家庭学習を増やすというのは保護者や子どもさん本人が努力しないとできない事です。この目標を達成するように、教育委員会から学校を通して家庭まで届けるというのは、相当な工夫が必要だと思います。
真鍋次長	はいそうですね。資料に書いてありますいくつか対策のどれに焦点を当ててもプラスになると思っております。
小野委員	例えば宿題の出し方というのは、各学校、若しくは先生にお任せにしているのですか。
真鍋次長	はい、そうです。
小野委員	そうすると、結局何も変わらないと思います。宿題の量を1.5倍に増やすといった具体的な指示や指導も出来ないですから、現実問題としては何も変わらないような気がします。
真鍋次長	2月に、学校としてどういう風な取り組みをするのか、教育委員会へ報告するよう依頼しております。
小野委員	新聞に順位が書かれてありましたが、あれは都道府県単位の順位だったのですか。
真鍋次長	はい。文部科学省は順位をつけないと言って結果を出したのですが、新聞には順位が載っていました。
小野委員	上位は東北の方だったと思うのですが、せつかく77億円の費用をかけるのに、実際に比較しないと改善も難しいと思います。
栗田委員長	中学校の中には、一週間以上宿題が出てない学校もあるようですね。

真鍋次長	はい、教科によってはあります。
栗田委員長	数学と英語に関して一週間宿題が出てないというのには非常に驚きました。そういう学校があるという現状を踏まえて、各学校に指導していただかないと、言われないとしない子たちがどうなるのだろうという事にもなりますので、もう一度把握をお願いします。
真鍋次長	昨年の愛媛県学習状況調査の時の課題としても、愛媛県全体は家庭学習が十分出来ていないというものでした。
小野委員	宿題の出し方は、先生任せになるのですか。例えば中学生ならば毎日1時間以上分の宿題を出すのが望ましい等、時間を含めた指導やお願いを学校の先生にできないのでしょうか。
真鍋次長	学校現場では、このような調査結果に対して、「自分はこの教科の宿題を出しているけど他の先生はどうなのか」等の協議を今までした事はないのではないかと思います。やはり家庭学習については、学級担任や教科担任任せになってしまうところがあると思います。そうすると一つのテーマとして学校でみんなが協議するという事も今後生かされるのではないかと思います。
太田委員	家庭学習時間に問題があるという事が分かったのであれば、もう少し詳しく聞いて、新居浜市教育委員会として活用、公表できるデータを集めたらどうでしょうか。
真鍋次長	はい。この「家庭学習時間を増やす」という目標のために、学校によっては実態を調べてみようというところも出てくると思います。
太田委員	学校に任せるのですか。
真鍋次長	ですから、それは学校がどういう風な取り組みをするかによります。
小野委員	言い方は悪いのですが、例えば「子どもは家へ帰ったら勉強せずに遊んだらいい。」といったポリシーを持った先生だと、宿題は週に1枚出るかでないかで、それは先生の自由。また逆に毎日30分、1時間の予習・復習の宿題を出す場合も先生の自由。義務教育なのか何なのか。その辺を教育委員会として、時間はかかると思いますが、こういう形が望ましいというアンケートや調査をしたらいいと思います。先生個人の自由裁量で動いて良いものとダメなものがあるような気がし

<p>阿部教育長</p>	<p>ます。ひょっとしたら、子どもからは宿題を出さない先生は良い先生、たくさん出す先生はあまり良くない先生とされているかもしれませんよね。</p> <p>私自身も驚いたのは、中学校の中間・期末テストの際に、前もって勉強の計画を立てさせるように指導をしていない事です。先ほど、小野委員さんが言われたように、学級担任独自の考えで勉強しようがしまいが、それでいいという感じです。先生によっては、計画を立てさせてチェックして指導している人もいます。それが学習訓練であり、基礎学力の定着に結びつくと思います。新居浜市内でそういった指導をしている先生と、そうでない先生がいるということがわかってきましたので、この1から10の項目を各学校で見直して欲しいという事です。ただ単に学習時間を増やすだけでなく、その増やすために1から10の項目を掲げています。以前は、学校長を中心に、宿題の出し方、家庭学習の手引きができていたのかどうか等学習の仕方を、まず4月に確認していました。それが今できているのかどうか。土曜日が休みになり、各教科の時間数が減りました。それなのに、教科書の厚さは変わらず、教える量は変わっていない状況なのです。そういう学び方自体の指導が十分できずに、教科書に入っている現状があるのではないかと思います。そういった事が見えてきたので、1から10の具体的な項目を挙げ、学校に押さえて欲しいという事です。</p> <p>各学年の家庭学習時間のデータを把握できていませんが、全体的に増やそうと思います。それはこれから学校教育課がしていきます。まずは、各学校にこの項目を実行して欲しいです。これをどう味付けしていくのが、これからの課題だと思います。</p>
<p>真鍋次長</p>	<p>この学力テストは、今回だけでなく来年度も4月にありますし、毎年実施し変化を見ることが出来ます。来年度の新居浜市としては、家庭学習をしている割合が高いという傾向がどこかに表れていると、大きな成果が出たという事になります。本当は、結果がすぐ出たら良いのですが、どうしても1年間ずつずれてしまいます。このテストを受け卒業していく子ども達に、この結果からすぐ関わっていったらいいのと思います。テストを受けた子どもたちのデータを、来年度から活用するとなると、実際受けた子たちに活かされないの、受けた子ども達にもプラスになるような、何か一つ共通の課題を作っていこうという事で、提案させていただきました。</p>
<p>太田委員</p>	<p>学校や教員の方の改善が目的であるということはわかったのですが、目標が「家庭学習時間を増やす」ということであれば、かなり上手に説明をしないと、学校側が自分たちの問題だと捉えてくれるのか</p>

阿部教育長	<p>なと思います。</p> <p>それは29日の校長会の時に、主旨について説明しております。あくまでも教職員の問題だと言っております。</p>
栗田委員長	<p>今のように順を追って説明していただくと、私たちも理解できるのですが、各教科の先生方が話し合っていくことの大切さを、もっと各学校の校長先生によく伝えていただきたいと思います。</p> <p>それと、最近学校に行った際に、先生の目が行き届きにくいといった大規模校の大変さを感じました。大規模校の先生方には、特に子どもを細かく見ていただきたいとお伝え願いたいと思います。小規模校で出来ていることが、大規模校で出来ないことは無いと思います。それぞれの先生方の取り組みよりも、先生方同士の横の連携や縦の連携をとっていただきたいと思います。</p>
小野委員	<p>私も教師の教育、教師の指導、レベルアップを何らかの形で図らなければならないと思います。例えば、民間の会社なら、当然売り上げを上げなければならないため、一人ずつ月1,000万円のノルマを課して、達成するために行動計画や日々の結果を追いながらやっています。そこまでするのは、また違うかと思いますが、先生の指導は、現実には難しいのでしょうか。</p>
真鍋次長	<p>今回の調査は、中学で言えば、国語と数学の2教科だけだったので、その2教科の先生だけのイメージに囚われがちなのですが、その他の教科の先生も何らかの形で関わり取り組んでいけるものをとということで、この目標となっております。</p>
宇野委員	<p>今年度は、前年度のテスト結果を受けて、目標を立てそれぞれの学校で取り組んでいますよね。例えば今回の結果を、校長先生と教頭先生だけで見てそこだけで判断してしまうと、みんなが盛り上がり、意識の変わるような教育実践にはならないと思います。</p> <p>子どもたちのいろんな活動を見ていたら、学校によって先生が子どもたちとたくさん関わっている、いないという実態が見えます。全体の先生方の意識を高めて指導の改善に繋げるように、今年度のうちにこの資料を十分に検討し、それぞれの先生が本気になれるような話し合いを各学校でしていただき、来年度の出発をしていただきたいと思っています。</p>
小野委員	<p>もし、ここに10人の先生がいた場合「子どもへの関わり方が少ないので、もっと関わるように」と言えば、十分に関わっている先生は</p>

<p>栗田委員長</p>	<p>「もっと関わらなくては」と思い、そうでない先生に限ってなかなか自分事とは理解してもらえないものだと思います。なので、個人的に伝えられたらいいのと思います。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>確かにそうかもしれません。それはまた今後の課題という事で、次に進ませていただきたいと思います。</p> <p>お手元の資料をご覧ください。</p> <p><資料に基づき説明></p> <p>不登校に関しては、残念ながら9月末時点82名で、1学期よりも10名増えています。昨年に続いて、不登校の発生率の高い学校があります。どのような対応をしているのか、真鍋次長に学校訪問してもらい、生徒指導の先生と一緒に見てもらっています。</p> <p><資料に基づき説明></p> <p>不登校状態が改善した子どももおります。現在この子どもについて、過去教育委員会に残っている資料を担当に集めてもらって、取組みや経過について事例研究をしていきたいと思っております。それを各学校へ、その取組みについて説明したいと思います。</p> <p><資料に基づき説明></p> <p>次に、現在あすなる教室に10名が入級しています。入級していない子どもで来ているのは12名おります。通常、15名から22名があすなる教室に登校してきています。不登校については以上です。</p>
<p>栗田委員長</p>	<p>ありがとうございました。今のご説明を聞き、今後難しいところもありますよね。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>続いて、いじめに関する調査についてご説明致します。</p> <p><資料に基づき説明></p>
<p>栗田委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>お手元に「平成19年度いじめ調査の考察と対応」という冊子があると思います。今年の7月に新居浜市内の各校でいじめ調査を致しました。それを新居浜市の生徒指導を中心に状況を把握し、平成17年度からの比較をしております。また目を通しておいて下さい。</p>
<p>栗田委員長</p>	<p>この冊子はどの範囲に配布しているのでしょうか。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>学級担任全員に配布しています。そして、今年についてはまだ確認していませんが、昨年まではPTA会長にも配布するようにしていま</p>

<p>栞田委員長</p>	<p>した。</p> <p>この資料を元に、いじめ問題と対策協議会を昨年は11月、今年は2月にする予定です。この報告もするようになると思います。</p> <p>中学新人大会の結果表をお配りしていると思いますので、ご覧下さい。</p> <p>教育長報告でも言いましたが、11月25日に「防災・減災フォーラム2007」が、総合科学博物館で開催されます。多喜浜の小学生が発表しますので、よろしければご参加いただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。お願い致します。</p> <p>2件ほどよろしいでしょうか。現在、学校支援を通じた地域連帯感形成のための特別調査研究という事で事業を行っておりますが、その一環として、若宮小学校で地域との連携を深めるという意味あいでの2つの事業を企画致しております。そのうちの一件が千葉県の習志野市に秋津小学校という所がありまして、文部科学省の指定等を受けて、地域と連携しながら学校経営を進めていくという実践に取り組んで参りました。そこでの実践に携わってこられた宮崎稔元校長先生を招き、11月22日の19時から若宮小学校の体育館で講演会が催されます。関心のある方は、是非ご参加いただけたらと思います。</p> <p>それと、子どもたちの『夢を支える』という領域で、愛媛県出身力士の玉春日関を招聘いたします。九州場所が終わって乙亥相撲で郷土の野村に帰られるようでして、その流れで新居浜市にも立ち寄って下さり、若宮小学校体育館で若宮校区の子どもたちや住民と交流を深めるということです。11月26日の14時30分から約1時間30分の予定で交流行事を行います。これにつきましては広くPRできないのですが、子どもたちがお相撲さんを見てどういふふうな感想を持つのかということも非常に興味深い部分がございますので、時間的に可能な方は是非ご参加下さいますようお願い致します。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>新居浜市の教育会が、来年4月から土曜寺子屋運動をしようと取り組んでくれています。藤野会長さんを中心に、子ども囲碁教室、手習い教室、歌声教室、小4算数教室という形で、恐らくこれらの教室もそのうち増えていくのではないかと思います。教育会館で実施していく予定です。教育委員会としてもできるだけ学校開放等、協力したいと思っています。</p>
<p>栞田委員長</p>	<p>こうして素晴らしい先生方に参加していただき、とてもありがたいことですね。</p> <p>先ほどの玉春日関を囲む集会に関しまして、他の学校の先生方にも</p>

事務局	<p>頑張っている学校や地域を見て勉強していただきたいと思いますが、そういったお声掛けは難しいのでしょうか。</p> <p>その辺も含めて、一度開催校に尋ねてみて、多くは呼べないと思いますが、できるだけ参考にさせていただけるような手立てを考えていきたいと思っております。</p>
栗田委員長	<p>昨年、大生院小学校が自主発表会をして、今年は惣開小学校も増えているという感じで、お互いに刺激し合えると、より良くなりますよね。その他、何かございますか。</p>
真鍋次長	<p>報告ですが、アメリカ訪問団の生徒さんたちは、今のところ元気で過ごしていて、学校も楽しんでいると引率している高橋先生からメールでの報告がありました。</p>
栗田委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次回の定例会は、12月6日木曜日の16時から開催いたします。場所については、後日連絡をいただきたいと思っております。</p> <p>以上で、第11回新居浜市教育委員会定例会を一度閉会いたします。ありがとうございました。</p> <p><以下、非公開にて審議></p> <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>

--	--